

学習指導案（略案）

日 時 令和7年8月23日（土）

対 象 小学校第6学年

授業者 氏名 星 初夏紀

会 場 江戸東京たてもの園

- 1 教材名 村上精華堂から当時の化粧文化を考える
- 2 教材の目標
村上精華堂から当時の化粧文化について考え、今との違いや化粧の変遷について探求し、考えたことや想像したことを伝え合うことができる。
- 3 関連する学習指導要領コード
<https://w3id.org/jp-cos/82201L0100000000>
<https://w3id.org/jp-cos/8220262000000000>
<https://w3id.org/jp-cos/8220263113000000>
<https://jp-cos.github.io/822/026321C000000>
- 4 主に活用する文化財・文化資料
 - 活用する建物：E11 村上精華堂（化粧品屋）
 - 村上精華堂の外観写真（撮影：星）



- 360°パノラマビュー/村上精華堂 <https://www.tatemonoen.jp/panorama/JP/E11/>
- たてもの園ナビ/村上精華堂 <https://tatemonoen-navi.jp/map/building/27?tab=2>
- ジャパンサーチ <https://jpsearch.go.jp/>

5 本 時（全1時間中の第1時）

(1) 本時の目標

村上精華堂から当時の化粧文化について考え、今との違いや化粧の変遷について探求し、考えたことや想像したことを伝え合うことができる。

(2) 本時の展開

時間	○活動等（生徒）	○指導・援助（教師） ◆評価<方法>
導入 5分	○村上精華堂の外観を見て何が分かるか、何の建物だと思うかを周りの人と話し合う。 ○360°パノラマビュー/村上精華堂をひらいて建物内を見て回りさらに気づきと予想を深める。	○村上精華堂が、化粧品屋さんだと分かるような特徴に気づかせる。建物の様式（外観：西洋っぽい建物、イオニア式の柱、「精華」の意味、等/内観：会計のそろばん、「香油」の意味、商品箱、等） ◆主体的に写真から発見をし、議論しようとしているか。

<p>展開 35分</p>	<p>○たてもの園ナビ/村上精華堂を読んで村上精華堂についての理解を深め、当時の化粧品屋さんではどのようなものが売られていたかを学ぶ。 ○ジャパンサーチや、必要であれば個人でほかにも調べ学習を行い（この際参考にした文献の出店は明確にする）、当時の化粧品について学び、種類や使い方、男女の違い、化粧文化の変遷など様々な視点から今との違いを見つける。 ○調べた内容、興味を持ったこと、自分が当時にタイムスリップしたらしてみたいことなどをまとめ班の中で発表する。</p>	<p>○活用できる資料を提供し、個人で調べ学習をする場合は出店の信憑性に気を付けることなどを伝えたい。生徒に主体的に探究活動を行わせる。 ◆主体的に調べ、多角的な視点で問いを立てて分析できているか。 ○想像力を働かせて当時の化粧品について考え、発表させる。 ◆想像力と発見力を働かせられているか。 ◆考えたことを文章にまとめ、伝えたいことを発信できているか。</p>
<p>まとめ 5分</p>	<p>○本時の目標に対する振り返りをする。</p>	<p>◆主体的に活動できていたか</p>

6 本指導案（授業デザイン）における特徴・工夫点

<ul style="list-style-type: none"> ・お店屋さんの中で一番何の建物か想像が付きにくい化粧品屋を選んだ。 ・ほかのお店は、今ではスーパーの一角に取り込まれていることが多いが、化粧品屋は今でも単体で存在するにもかかわらず大きな進化を遂げており、今と当時では全然違う姿をしている。 ・化粧は、時代とともに大きく変化している文化の一つであるのに、あまり学校で取り上げられることのないものなので、生徒も興味を持ちやすいのではないかと考える。
